

アルストロメリア栽培実証展示計画（令和元年度）

1. 目的

施設花きの主要品目であり、一時期より生産は減少しているものの、ゆりと並ぶ大規模化が可能であり、産直品目としても定着している。そこでため、主要品種、新規品種を展示栽培し収量性等を調査し、アルストロメリア生産者の経営安定の参考に資することを目的とする。

2. 栽培概要

(1) 供試品種

福花園種苗(株) (RoyalVanZanten 社育成品種)、横浜植木(株) (konst 社育成品種)、タキイ種苗(株) (Hilverda 社育成品種)、新井清太郎商店 (Ball Columbia 社育成品種) の協力により試作展示を実施。定植後4年間継続して栽培。

栽培品種数、株数

定植年	RVZ	konst	Hilverda	BC	合計 品種数	合計 株数
平成28年	6	15	6	-	27	144
平成29年	-	11	12	-	23	100
平成30年	6	7	8	5	26	142
令和元年	7	6	6	-	19	96
合計	19	39	32	5	95	482

※RVZ: Royal Van Zanten BC: Ball Columbia

※品種名は別表参照

(2) 耕種概要

ア 定植日（令和元年定植株 97 株）

令和元年 5 月 24 日（3 月下旬～4 月下旬に到着した苗を鉢上げし、株養成の後に定植）

イ 植栽距離

床幅 80cm（木枠）、通路幅 60cm、株間 40cm、1 条植え

ウ 施肥量

基肥（定植時）：N・P・K 各分量 1.0kg/a（現物 CDU たまご化成 15-15-15）

追肥：窒素 0.6 kg/a/月（現物 CDU たまご化成 15-15-15）

(3) 遮光

定植後及び強光時遮光を実施（遮光率 50%）

(4) 地中冷却

令和元年 7 月 1 日～9 月 31 日、冷却水温 14℃に設定

(5) 温度管理

冬期間は最低気温 8℃で管理

(6) 収量調査

品種別、地冷の有無別に収穫本数を確認

[採花調査]

- ・調査期間：4 月～3 月、ただし 7 月、8 月は高温期により開花が少なく採花なし
1 年目株は 5 月定植で 9 月から採花
- ・各花梗の第 1 花がほぼ満開になった時点で採花
- ・茎の太さが一定以上で花梗数 4 本以上のものを採花本数とする
- ・茎が一定以上の太さで曲がりがなく、花梗数が 5 本以上のものを上位品とする

3. 実証内容の周知

(1) 実証展示状況は、生産者は見学可能とする。

(2) 収量等の調査データは、取りまとめの上花きセンターホームページに公開する。